

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 22

2009.4

Kashiwababa Neurosurgical Hospital

tPA 治療施行 100 症例を突破

部門レポート／臨床工学科

福住小川公園



特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

tPA 治療施行 100 症例を突破

急性期脳梗塞に有効

脳梗塞治療最前線
Health Navi

脳梗塞の発作が起きたら一刻も早く当院へ

脳血管に血栓が詰まる脳梗塞は毎年8万人以上の命を奪う怖い病気ですが、2005年10月に脳梗塞の治療薬として適応が認められた血栓溶解剤tPAが、当院でも良好な治療結果を出しています。tPA治療を当院が採用したのは同年12月。4年目に入った2009年3月には103症例に達し、脳梗塞の患者さんの後遺症が軽減しています。



脳卒中診療部長・医局長 吉本 哲之

得意分野 脳血管障害全般・特に脳動脈瘤・脳虚血性疾患の治療

認定医・専門医 日本脳神経外科学会専門医・日本脳卒中学会専門医

現在の主な役職 日本脳循環代謝学会評議員・北海道脳卒中研究会世話人

社会復帰率を向上させた tPA治療

脳梗塞を治療するには血管に詰まった血のかたまり（血栓）を一刻も早く取り除く必要があります。tPAを投与すると、血管を詰まらせている血栓を溶解し、血流を再開させることができます。脳梗塞の発作を起こした患者さんが、当院でtPAの投与を受けて、自立歩行で退院するケースも増えており、社会復帰率が確実に向上しています。

脳梗塞発症後3時間が 分かれ道に

しかし、tPAは発症から数時間経過して投与すると、脳出血の恐れが高まり、効果も乏しくなるため、投与の対象は、「発症後3時間以内」と厳しく制限されています。

tPA投与ができるかどうかを判断するための事前検査には1時間程度が必要です。つまり、発症後2時間以内に病院に着いていないとtPA投与ができないのです。

ですから、迷っている時間はありません。発症してからどれくらい時間を要したかが、脳梗塞の最新治療であるtPA投与が受けられるかどうかの分かれ道になります。

治療体制を整え 24時間待機

もし、あなたやご家族に「片側の手足が動かない」「ろれつが回らない」などの症状が出たら、すぐに救急車を呼んでください。もし、呼ぶべきかどうか迷ったら、当院へ直接電話を入れてください。医師が必要な指示を出すことができます。「明日まで様子を見てから」と受診が遅れると、tPA治療を受ける時期を逃がすこととなります。

当院では、脳梗塞の早期診断・早期治療ができる専門スタッフが24時間待機しています。

また、スムーズな脳梗塞治療を行うための診断・治療のシステムを構築し、100症例以上のtPA治療実績があります。

救急車が直接救急処置室へ



救急車が国道36号から当院A館1階の救急処置室へ直接乗り入れることができる救急車専用通路があります

柏葉脳神経外科病院でのtPA治療実績



tPA 静注療法 103 症例

(2005年12月～2009年3月)

柏葉脳神経外科病院は、tPA療法を実施できる体制を国内で最も早く整備し、2009年3月末現在で103症例とトップクラスの症例数を数え、良好な治療結果を出しています。

全国平均を上回る 当院の良好な治療結果

tPA投与3カ月後の当院における治療結果を見ると、「通常の日常生活ができる」ところまで回復した患者さんは4割で、全国平均の3割を上回る良い結果を出しています。副作用による脳出血は全国平均で2・5割ありますが、当院では1割に抑えることができています。

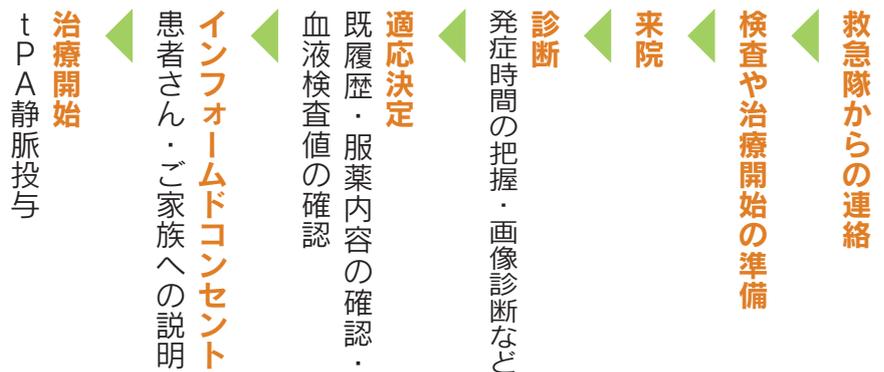
今後により有効で安全なtPA治療を行うために、近隣の病院や診療所、救急隊との連携を強化し、脳梗塞の初期症状や治療についての情報を交換・共有しながら、脳の専門病院としての使命を果たしたいと思っています。

tPA治療を 適用できないケース

- 脳梗塞発症後3時間以上が経過している
- 脳梗塞の発症時間がわからない
- 発症後3時間以内でも、脳梗塞が進行している
- 病歴・服薬内容の確認ができない
- 家族と連絡がとれない

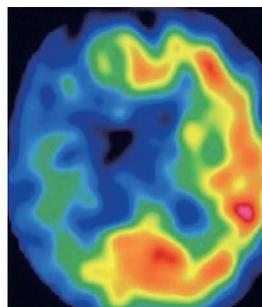


tPA治療の流れ

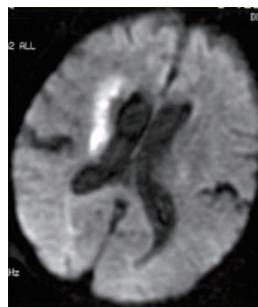


搬入時SPECTでは、広範囲に血流が低下しているのが分かりますが、MRIを見ると脳梗塞はわずかです。

tPA前後のMRAを見ると、詰まった血管の血流が再開したのが分かります。



搬入時SPECT



搬入時MRI



tPA前MRA(○印内の血管が詰まっている)



tPA後MRA(○印内の血管がtPAによって再開した)

tPA治療 症例

72歳女性
突然、左麻痺と
言語障害を発症

- ① 1時間後に来院
- ② 診断・検査
- ③ 発症約2時間後にtPA静注投与開始
- ④ 静注30分後、左麻痺と言語障害が改善
- ⑤ 14日後に、自立歩行にて退院

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります。

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

部門レポート

臨床工学科

科長…長谷川 清純
スタッフ…臨床工学技士 3名
助手 2名

さまざまな医療機器を 365日24時間安全運用

高濃度酸素を投与する高気圧酸素治療

臨床工学科では、365日対応の勤務体制で高気圧酸素治療、医療機器保守管理、医療ガス保守管理の業務を行っています。

高気圧酸素治療とは、通常気圧（1気圧）の倍にあたる2気圧環境下の装置の中で、高濃度の酸素を一定時間投与する治療です。気圧が高くなると血液中に溶ける酸素の量が増える



高気圧酸素治療装置



人工呼吸器の点検作業

ることから、体内の患部周辺の血行不全組織へ効果的に酸素を送り届け、障害の修復を促進させます。
当院では1982年より高気圧酸素治療装置を導入し、脳・神経疾患の治療を中心に、4台の装置で月平均500回の治療を行っています。

医療機器17機種145台の保守・点検も

医療機器保守管理は、院内で使用される治療監視装置17機種145台を登録し、機器の導入から保守、廃棄までのライフサイクルを管理しています。主要な機器は人工呼吸器、輸液ポンプ・シリンジポンプ、心電図モニタなどで、常に整備した状態で中央管理化し、救急対応に備えています。

さらに、点検計画を元を実施する予防保守、不具合発生時に実施する不良点検・調整・修理等の不具合保守を行っています

す。また、保守記録は書類および電子の両方を活用した履歴管理で、機器の運用状況や故障状況を把握しながら、起こりうる故障について未然に防止するなど常に安全な機器運用を目指しています。
医療ガス保守管理では、関係法令に基づいた院内医療ガスの配管・吸引・圧縮空気設備、院外に設置している液化酸素・ガスマニホールド室設備、医療ガス関連機器類の保守・管理を行っています。
臨床工学科では、常に安全業務の姿勢を心がけ、専門知識や技術の研鑽に努めています。



雪解けが進むにつれ、夜明けの時間が早くなり、木々の新芽も膨らみを増し、羊ヶ丘の景色もすっかり春の装いへと変わりました。春を迎え、当院でも今年度17名の新入職員を迎えました。しっかりとした木に育つよう大切に育てていきたいと思っています。

日毎に力強さを増す春の日差しですが、初夏の気温の日があったかと思えば、一変して10度以上低い最高気温の日があったりしています。寒暖の差に体調を崩すことの無い様、体調管理には十分ご留意ください。
(小川)